

2025年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：地域経済学特論	
担当教員名：樺 克裕	
授業科目概要： 現在の日本の地域経済は、モータリゼーションや立地規制の緩和等により伝統的な商店街の多くは疲弊し、空き店舗が目立ち、グローバル経済の影響を受け、中小製造業も円高の進展や下請け関係の解消等厳しい状況にあり、地方に誘致した大企業の工場も数年で移転、閉鎖する等大変厳しい状況にあります。 このように、現在の日本の地域経済は、国内の経済だけでなく、世界経済と密接に繋がっています。この科目では、世界経済、日本経済の最新の現状分析とより理解を深めるための理論分析を組み合わせ、地域経済に対する理解を深めることを目的とします。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：『都市・地域経済学への招待状 [新版]』 著者／編者：佐藤泰裕 出版社：有斐閣(有斐閣ストゥディア) 出版年：2023年	書名：『都市経済学(第2版)＜プログレッシブ経済学シリーズ＞』 著者／編者：金本良嗣・藤原 徹 出版社：東洋経済新報社 出版年：2016年
書名：『都市経済学』 著者／編者：高橋孝明 出版社：有斐閣(有斐閣ブックス) 出版年：2012年	書名：『入門都市経済学』 著者／編者：浅田義久・山鹿久木 出版社：ミネルヴァ書房 出版年：2023年
書名：『集積の経済学』 著者／編者：藤田昌久他著 徳永他訳 出版社：東洋経済新報社 出版年：2017年	書名：『経済学で考える 人口減少時代の住宅土地問題』 著者／編者：土地総合研究所編 山崎福寿・中川雅之著 出版社：東洋経済新報社 出版年：2020年
評価方法及び判定基準： 評価は授業中の貢献度と試験・レポート等の総合評価とします。	
授業目標及び進め方： 先にも述べたように輪読形式で授業を進めます。受講者は、割り当てられた部分について発表して貰います。それについて、私の方からコメントや質問等を行い、議論を深めていければと考えています。	

第 1 回	テーマ：日本の地域と都市 内 容：日本の地域と都市の現状
第 2 回	テーマ：地域の産業構造 内 容：産業構造と産業連関表
第 3 回	テーマ：地域間人口移動（1） 内 容：地域間人口移動の現状
第 4 回	テーマ：地域間人口移動（2） 内 容：地域間人口移動の理論分析
第 5 回	テーマ：集積の経済と都市化（1） 内 容：人口集中の利益と不利益
第 6 回	テーマ：集積の経済と都市化（2） 内 容：集積の経済の理論
第 7 回	テーマ：住宅市場 内 容：地価と地代の理論分析
第 8 回	テーマ：都市内土地利用の分析（1） 内 容：チューネンモデル
第 9 回	テーマ：都市内土地利用の分析（2） 内 容：アロンゾ・ムース・ミルズモデル
第10回	テーマ：都市システムモデルと最適人口規模（1） 内 容：都市規模決定の基本モデル
第11回	テーマ：都市システムモデルと最適人口規模（2） 内 容：都市システムモデル
第12回	テーマ：地域間交易 内 容：地域間交易のモデル
第13回	テーマ：空間経済学 内 容：空間経済学のモデル
第14回	テーマ：交通サービス 内 容：交通経済学のモデル
第15回	テーマ：地方政府と地域経済 内 容：租税競争・公共財の供給